

No.	区分	機能	概要	詳細
1	機能改善	スケジュール 設備予約	予定の登録先に設定されたユーザーがその予定を変更・削除できるように	予定の登録先に設定されているユーザーに対して、その予定の変更や削除を許可するかどうかを選べる共通設定「予定の変更・削除」を追加しました。 これまで他のユーザーが追加した予定の変更や削除は、その予定に登録されたすべてのユーザーに対する変更権限がないと行えませんでした。この設定を切り替えることで予定の登録者であればだれでも編集できるようになります。
2	機能改善	スケジュール 設備予約	時間帯が重複している際に警告メッセージを表示	登録者の予定が重複している場合に、重複している旨のメッセージとあわせ、登録するかどうかを選べる共通設定「予定登録時の時間重複通知」を追加しました。 重複した時間帯の予定登録について、これまでではすべて許可するか、またはすべて拒否することしかできませんでした。この設定を有効にすることで、時間帯が重複している場合にそのまま登録するかどうかを選べるようになります。
3	機能改善	スケジュール 設備予約	週間表示・1日表示で時間・日付バーを固定表示	スクロール時、時間・日付などを上部に固定表示するようにしました。 予定の週間表示や1日表示を下にスクロールした際、たとえ予定がたくさん登録されていても、それがどの日か、どの時間かをすぐ確認できるようになりました。
4	機能改善	スケジュール 設備予約	1日表示の時間表示幅・高さを調整可能に	1日表示の時間表示の幅・高さを調整する機能を追加しました。 組織/個人1日表示の右上に追加されたボタンから、時間表示の幅・高さを調整できるようになりました。表示を拡大することで、長い予定も最後まで確認できます。
5	機能改善	スケジュール 設備予約	閲覧先設定のインターフェースを改善	予定の追加・変更画面の「閲覧先」設定のインターフェースを改善しました。 「すべてのユーザー」を押すと、閲覧先を「登録先のみ」とするか、「登録先と選択ユーザー」とするか選択できるようになります。
6	機能改善	スケジュール 設備予約	閲覧先の「選択ユーザー」を「登録先と選択ユーザー」に変更	予定の閲覧先の選択肢にある「選択ユーザー」の表記を「登録先と選択ユーザー」に変更しました。 予定の登録者・所有者・登録先および指定した任意のユーザーに対して予定の閲覧を許可するという動作に変更はありません。
7	機能改善	スケジュール 設備予約 来訪者管理	予定の詳細画面などから設備の詳細を表示	予定のポップアップ、予定の詳細画面、予定の編集画面に、設備の詳細情報へのリンクを追加しました。普段あまり利用しない設備の詳細情報にも簡単にアクセスできます。
8	機能改善	スケジュール	組織1日/組織週間からダイレクトメッセージを送信可能に	組織1日・組織週間画面から、伝言・メールに加えてダイレクトメッセージも1クリックで送信できるようになりました。メンバー不在時に連絡を残したいときなどに便利です。
9	機能改善	設備予約	設備の予約可能時間を設定可能に	設備を予約可能に切り替える時刻を設定できるようになりました。 予約を認める期間を設定する「予約可能制限」設定に「期限変更時間」を追加し、指定された時間を迎えたところで予約可能に切り替わるようにしました。
10	機能改善	インフォメーション	インフォメーションの下書き保存	インフォメーション編集からインフォメーションを作成する際に、作成途中に下書き保存を行えるようになりました。下書き保存されたデータは、作成者のみ編集できます。
11	機能改善	インフォメーション	インフォメーション右上の日付表示のカスタマイズ	インフォメーション右上に表示する日付を選べるようになりました。 機能管理 > 共通設定に追加された「詳細画面の右上の日付」から、詳細画面右上に表示する日付を「作成日」「表示開始日」「表示しない」から選択できます。

No.	区分	機能	概要	詳細
12	機能改善	インフォメーション	<b>インフォメーション一覧の初期表示の初期値を設定</b>	インフォメーション機能を開いたときの初期表示を「未読」「既読」「すべて」から選べるようになりました。個人設定 > 表示設定に追加された「一覧の既読状態初期値」からユーザーごとの初期設定を、機能設定 > 共通設定に追加された「一覧の既読状態初期値」から各ユーザーの初期値をそれぞれ設定できます。
13	機能改善	インフォメーション	<b>公開終了日の自動調整</b>	インフォメーションの公開期間を設定する際、公開開始日を変更すると、自動的に公開終了日の日付が調整されるようになりました。公開期間を設定する際の手間が軽減されます。
14	機能改善	文書管理	<b>複数文書の一括ダウンロード</b>	フォルダ内の文書をまとめてダウンロードできるようになりました。同じフォルダ内に保存されている文書を選択して、それら文書に含まれる添付ファイルをまとめてダウンロードできます。（サブフォルダの文書は除きます） ※クラウド版では本機能はご利用いただけません。
15	機能改善	文書管理	<b>改訂履歴の保存数の拡張</b>	これまで文書に残せる改訂履歴は最大10世代まででしたが、その制限を99まで拡張しました。世代を増やすことで、消費するディスク容量も増加する点にご注意ください。
16	機能改善	ウェブメール ウェブメール IMAP	<b>メール作成画面で宛先をパネル表示</b>	メール作成・編集画面で、宛先に指定したアドレスをパネル表示できるようになりました。個人設定 > 基本設定 > 基本設定に追加された「メール宛先の移動」を「許可する」に設定することで、メール作成・編集画面で宛先を入力・指定した際に、アドレスが自動的にパネル表示に切り替わるとともに、宛先が画面からはみ出す場合、右端で折り返されすべてのアドレスを確認できるようになります。 機能設定 > 共通設定に追加された「メール宛先の移動」から、各ユーザーの初期設定値も設定できます。
17	機能改善	ウェブメール ウェブメール IMAP	<b>メール作成画面で宛先をドラッグ&amp;ドロップで移動</b>	メール作成・編集画面で、アドレスを宛先・CC・BCC欄の間でドラッグ&ドロップで移動できるようになりました。個人設定 > 基本設定 > 基本設定に追加された「メール宛先の移動」を「許可する」に設定することで、入力・指定したアドレスがパネル表示になり、ドラッグ&ドロップでの操作が可能になります。 機能設定 > 共通設定に追加された「メール宛先の移動」から、各ユーザーの初期設定値も設定できます。
18	機能改善	ウェブメール ウェブメール IMAP	<b>HTML形式の署名の作成</b>	書式付きの署名を作成できるようになりました。HTML形式の署名を「通常使う署名」に設定することで、メール新規作成時の初期表示もHTML形式になります。
19	機能改善	ウェブメール ウェブメール IMAP	<b>アドレス帳と利用者名簿のどちらを先に開くか設定</b>	ウェブメール画面からアドレス帳を開く際、またメール作成画面から宛先を指定する際に、アドレス帳と利用者名簿のどちらを初期表示するかを設定できるようになりました。
20	機能改善	ワークフロー	<b>任意の決裁者に差し戻し</b>	差し戻しを行う際、ひとつ前の決裁者/グループまたは申請者に対してしか差し戻せませんでした。任意の決裁者/グループまで戻せるようになりました。
21	機能改善	ワークフロー	<b>経路部品に「任意ユーザー」を追加</b>	申請時に任意のユーザーを指定できる「任意ユーザー」部品を追加しました。例えば経路の最初に「任意ユーザー」を設定すれば、申請書を回す前に内容確認を行うステップを設けられます。
22	機能改善	ワークフロー	<b>書式部品に「組織選択」を追加</b>	ワークフローの申請書や書式の中で、任意の「組織」をひとつ選択させることができる「組織選択部品」を追加しました。

No.	区分	機能	概要	詳細
23	機能改善	ワークフロー	ラジオボタン部品を縦並び表示	ラジオボタン部品で選択肢を縦並び表示できるようになりました。 ラジオボタンに長いテキストを持つ選択肢を多数設けた場合などに、縦並び表示にすることで各項目の見やすさと選択しやすさを向上できます。 ※本変更に伴い、V7.1以前でエクスポートされたラジオボタンが含まれる書式は正しくインポートできなくなりますのでご注意ください。
24	機能改善	ワークフロー	文書管理保存時の登録者を設定	これまで申請が完了した申請書を文書管理に保存する際の登録者は「その申請書の申請者」となっていますが、共通設定の「申請完了時の文書管理登録」から文書の登録者として任意のユーザーを設定することで、文書管理に保存する際の文書の「登録者」を設定できるようになりました。
25	機能改善	ワークフロー	文書管理保存時のメール通知	文書管理のフォルダに対してメール通知の設定を行っている場合に、共通設定の「申請完了時の文書管理登録」からメール通知を「使用する」に設定することで、ワークフローからフォルダに文書が保存された際にもメール通知を送れるようになりました。
26	機能改善	ワークフロー	申請書ごとに「複写して作成」を制限	申請書ごとに「複写して作成」を制限できるようになりました。 申請書の書式や経路を変更した際、一時的に「複写して作成」を制限することで、古い状態の申請書が使われてしまうことを防ぐことができます。
27	機能改善	ワークフロー	「申請者の扱い」の初期値を設定	申請経路「申請者の扱い」の初期値を設定できるようになりました。 共通設定 > 「経路の申請者の扱い初期値」から、経路の中に申請者自身が入っていた場合に、そのまま決裁者として扱うか、決裁者から除外するか、自動承認するかを設定する「申請者の扱い」の初期値を設定できるようになりました。経路ごとに申請者の扱いを変更できないよう設定もできます。
28	機能改善	ワークフロー	申請経路の「複写して作成」	申請経路も「複写して作成」が行えるようになりました。 既に作成されている申請経路を複写して、新しい申請経路を作れるようになりました。類似した経路を作成する際の手間を大きく削減できます。
29	機能改善	ワークフロー	経路種別に応じた承認条件の表示	申請・承認時の決裁履歴欄に表示される「承認条件：」について、これまで固定表示だったものを、経路に設定された経路種別に応じて表示を切り替えるようにしました。
30	機能改善	ネオツイ	ダイレクトメッセージを1件ずつ削除	ダイレクトメッセージで相手に送信したメッセージを、1件ずつ削除できるようになりました。メッセージが未読の状態であれば、相手に届いたメッセージも削除されます。
31	機能改善	来訪者管理	予定に来訪者の「受付状態」を表示	予定に来訪者を登録している場合に、スケジュールの予定詳細画面から来訪者の受付状態（来訪待ち/受付済み/担当者へ連絡済み）まで確認できるようになりました。
32	機能改善	回覧・レポート	ラジオボタン部品を縦並び表示	ラジオボタン部品で選択肢を縦並び表示できるようになりました。 ラジオボタンに長いテキストを持つ選択肢を多数設けた場合などに、縦並び表示にすることで各項目の見やすさと選択しやすさを向上できます。 ※本変更に伴い、V7.1以前でエクスポートされたラジオボタンが含まれる書式は正しくインポートできなくなりますのでご注意ください。
33	機能改善	アンケート	ラジオボタン部品を縦並び表示	ラジオボタン部品で選択肢を縦並び表示できるようになりました。 ラジオボタンに長いテキストを持つ選択肢を多数設けた場合などに、縦並び表示にすることで各項目の見やすさと選択しやすさを向上できます。 ※本変更に伴い、V7.1以前でエクスポートされたラジオボタンが含まれる書式は正しくインポートできなくなりますのでご注意ください。
34	機能改善	プロフィール	プロフィール画面に伝言/メール/ダイレクトメッセージを追加	ユーザーのプロフィール画面に、伝言/メール/ダイレクトメッセージを送る機能を追加しました。社内メンバー宛での連絡がよりスムーズになります。

No.	区分	機能	概要	詳細
35	機能改善	議事録	文書管理保存時のメール通知	文書管理のフォルダに対してメール通知の設定を行っている場合に、共通設定の「文書管理登録時のメール通知」を「使用する」に設定することで、議事録からフォルダに文書が保存された際にもメール通知を送れるようになりました。
36	機能改善	管理者設定	ユーザー情報のメールアドレス通知/ 公開設定の管理	管理者設定のユーザー管理から、個々のユーザーに設定されたメールアドレスごとの通知ON/OFF設定および公開/非公開設定をメンテナンスできるようになりました。 ※本変更に伴い、ユーザー情報のインポート・エクスポート項目にも各メールアドレスの通知および公開設定項目が追加されています。V7.5以降では、V7.1までに利用していたCSVファイルはご利用いただけませんのでご注意ください。
37	機能改善	管理者設定	英語表示時の日付の書式を選択	言語を「English (US)」に設定した際の日付の表示形式を「mm/dd/yyyy (月/日/年の順)」または「dd/mm/yyyy (日/月/年の順)」から選択できるようになりました。管理者設定の「言語及びタイムゾーン設定」から初期値を設定できるほか、個人設定メニューの「言語及びタイムゾーン設定」から個人ごとにも設定が行えます。
38	機能改善	管理者設定	画面サイズ設定の初期値を設定	管理者が全ユーザーの画面サイズの初期値を設定できるようになりました。利用するモニターがすべて同じ場合などに、ユーザーによる設定変更を制限することもできます。
39	機能改善	AppSuite	部品ごとに「複写して追加」の対象とするかどうかを設定	既に登録されているデータから「複写して追加」されたときに、入力されている値を複写するかどうかを個々の部品に対して設定できるようになりました。複写時に内容をクリアしたい日報アプリの「上長コメント欄」や、複写した日にリセットしたい「報告日」欄、いいねプラグインに保存された値、申請書アプリで毎回必ず記入させ直したい入力項目など、多くのシーンで活用できます。
40	機能改善	AppSuite	自動計算に文字列の取り出しを行う LEFT/RIGHT/MID関数を追加	自動計算に、文字列を取り出す関数を3つ追加しました。 ・LEFT関数：文字列の左から指定した文字数取り出します。 ・RIGHT関数：文字列の右から指定した文字数取り出します。 ・MID関数：文字列の指定した位置から指定した文字数取り出します。 その他文字列操作関数と組み合わせることで、既存のExcelシートからの移行がよりスムーズに行えるようになります。
41	機能改善	AppSuite	自動計算に文字列の長さを取得する LEN関数を追加	自動計算に、文字列の長さを取得する「LEN関数」を追加しました。 その他文字列操作関数と組み合わせることで、既存のExcelシートからの移行がよりスムーズに行えるようになります。
42	機能改善	AppSuite	自動計算に文字列の検索を行うFIND 関数を追加	自動計算に、文字列の検索を行い見つかった位置を返す「FIND関数」を追加しました。 その他文字列操作関数と組み合わせることで、既存のExcelシートからの移行がよりスムーズに行えるようになります。
43	機能改善	AppSuite	自動計算にCONTAINS関数を追加	自動計算に、チェックボックス/リストボックスの選択状態をチェックする「CONTAINS関数」を追加しました。 オプション商品のチェックボックスをONにされたら対応する金額を合計に加えるなど、インターフェースの柔軟性を上げることができます。
44	機能改善	AppSuite	参照データ一覧でラジオボタン/プル ダウンを利用可能に	参照データ一覧の「関連データを見つける条件」にラジオボタン/プルダウンを使用できるようになりました。

No.	区分	機能	概要	詳細
45	機能改善	AppSuite	参照データ一覧で自動計算を使用する際の制限を緩和	参照データ一覧の「関連データを見つける条件」に自動計算部品を使用した際に、参照された一覧のデータを別の自動計算部品で使用できないという制限を緩和しました。循環参照とならない限り、参照データ一覧のデータを集計などに利用できるようになります。
46	機能改善	AppSuite	サムネイル表示のサイズ指定	添付ファイルのサムネイルサイズを設定できるようになりました。サムネイル表示時のサイズを設定することで、文書ファイルと画像ファイルが混在した時も同じサイズで表示されるようになり、ファイルの確認・選択が容易になります。
47	機能改善	AppSuite	日付入力部品で10年前/10年後に移動	日付入力部品に10年前、10年後に移動するボタンを追加しました。これまで日付部品で年を変更する場合に、1回の操作で前後10年までしか移動できませんでした。今回新たに10年前、10年度に移動するボタンを追加しています。
48	機能改善	AppSuite	アプリ管理者が他ユーザーの集計を編集可能に	これまでは「自分が作成した集計」しか編集できませんでしたが、アプリの管理者であればアプリ内のすべての集計を編集できるようになりました。
49	機能改善	AppSuite	集計結果エクスポート時の文字コード/区切り文字を指定	集計結果をCSVファイルにエクスポートする際、これまで必ずシフトJIS形式で出力されていましたが、文字コードと区切り文字を指定できるようになりました。
50	機能改善	AppSuite	データの追加・変更時の処理のデータ特定条件にデータIDを指定	データの追加・変更時の処理の「変更対象のデータを特定する条件」として、「データID」を指定できるようになりました。データが追加・更新されたタイミングで、そのデータ自身を書き換えることが可能になります。
51	機能改善	AppSuite	データの追加・変更時の処理設定画面のインターフェース改善	データの追加・変更時の処理の設定画面において、「データの変更時に行う」のオプション項目（必ず行う、選択した部品のいずれかが変更されたときに行う）の表示位置を調整しました。 また同設定画面の処理タイプから「表部品からデータを新規追加」を選択した際の、「保存先アプリケーション」と「表部品」の表示順を入れ替えました。
52	機能改善	AppSuite	パフォーマンス改善	部品が多いアプリの設定変更・表示・削除にかかっていた時間を改善しました。 テンプレートの作成画面で選択したアプリの「関係するアプリケーション」情報を取得する処理にかかっていた時間を改善しました。 ワークフローにて、AppSuite連携の申請完了時における文書管理フォルダへの保存にかかっていた時間を改善しました。
53	機能改善	AppSuite	Excelファイルもインポート可能に (R2.0以降)	アプリケーション作成とデータインポートの際、CSVファイルと同様にExcelファイルでもインポートが行えるようになりました。
54	機能追加	AppSuite	設定メニューに「AppSuite導入&活用ガイド」を追加 (R2.0以降)	設定メニューに管理者がAppSuiteの初期設定やアプリの活用方法について気軽に学ぶことができるページを追加しました。困ったときはいつでもアクセス可能です。 ※AppSuite導入&活用ガイド「Let's study AppSuite」 <a href="https://www.desknets.com/neo/start/appsuite/">https://www.desknets.com/neo/start/appsuite/</a>
55	機能改善	AppSuite	CSVファイルからのインポートの際に、文字コードと区切り文字の指定が不要に (R2.0以降)	CSVファイルからインポートする際に、文字コードと区切り文字を指定する必要がなくなりました。
56	機能改善	AppSuite	ユーザー選択/組織選択部品の最大選択数の上限を引き上げ (R2.0以降)	ユーザー選択/組織選択部品の最大選択数の上限を100から999に引き上げました。

No.	区分	機能	概要	詳細
57	機能改善	AppSuite	テンプレートに含めることができるアプリ数の上限を引き上げ（R2.0以降）	テンプレートに含めることができるアプリ数の上限を10から30に引き上げました。
58	機能改善	AppSuite	プラグインライブラリの各プラグインの説明を折りたたみ可能に（R2.0以降）	プラグインライブラリの各プラグインの説明を折りたためるようになりしました。
59	機能改善	AppSuite	利用バージョンに適合したプラグインをインストール（R2.0以降）	プラグインライブラリから各プラグインをインストールする際、利用しているdesknet's NEOのバージョンに適合したプラグインがインストールされるようになりました。